

無表情だけぞすごい

クールでメガネ美人な

くじょう

九條さんは ライトノベルの

ヒロインみたいに

Produce by アトリエTODO

エロ可愛い。

Atelier TODO delivers a special erotic experience that will give you a new, exciting and thrilling experience.

01

Kujo-san is quite a perver and loves erotic novels.

エロ小説は
大好かなり
九條さんは
かなり変態

AOHARU SEX

漫画：しるこ

シナリオ：ウラジーミル



STORY

これはある夏の日に起きた ちょっとした『事件』のお話

「これはある夏の日に起きた
ちょっとした『事件』のお話」

ミリタリーオタクの小野寺タクヤ。

趣味はオタクだけどどこにでもいる平凡な
男子だった。しかしそんなタクヤには
超絶美少女の彼女がいた。

名前は「九條真那(くじょうまな)」

周りからは「氷の女帝」と呼ばれるほど
無表情でクールで近寄りがたい雰囲気的美少女。
なぜこの二人が付き合い出したかというと…

きっかけは1ヶ月前の出来事だった！

放課後掃除をしていると、九條さんの机から
まさかのエッチな官能小説を見つけてしまうタクヤ
その様子を九條さんに見つかってしまう。

「絶対に内緒にする！」と約束したら小説みたいな
エロいことをしてくれるとのこと!?

一体全体どういうこと!?!?!となったけど
可愛すぎる九條さんに誘惑されるとタクヤも
我慢できなくなった!!!!



こっそり教室でプールでラブホテルで!!!

クールな美少女九條さんのご奉仕プレイが止まらない!
こんなアオハルエッチしてみたい気持ちになること間違いなし!
ライトノベルのヒロインみたいに可愛い九條さんと
ひたすらイチャラブSEXたっぷり53ページ収録!!!



CHARACTER



九條真那

Kujo Mana

クールで高嶺の花と思われてるが、じつはちょっと天然が入った女の子。目が悪いために目つきがきついが別に睨んでいるわけではない。

小野寺タクヤ

Onodera Takuya

主人公。誰にでも丁寧語で話す。気弱だが、曲がった事が大嫌い。筋を通すことを知っている小柄なミリオタ少年。



漫画：しるこ

シナリオ：ウラジーミル

この作品はフィクションです。
実在する人物・団体などとは
一切関係ありません。

これはある
夏の日に起きた
ちよつとした事件の話

自分の名前は
小野寺タクヤ
どこにでもある
平凡…いや…

ちよつとオタクな
学生です

好きなジャンルは
ミリタリー

小柄で体力も
人並み以下
ですが…

キーン
コンコン
コンコン
コンコン
コンコン

将来は自衛官になって
悪い奴らから

皆を守れるような
男になりたいと
思っています

あっ…

それは—

そんな平凡な
自分ですが…
一つだけ
自慢できることが
あります

ガラッ



…は、はいっ



小野寺くん。
一緒に帰りましょう

美人だがクールで
近寄りがたいと評判の
ラブベヒロインみたいな
美少女彼女がいる事！



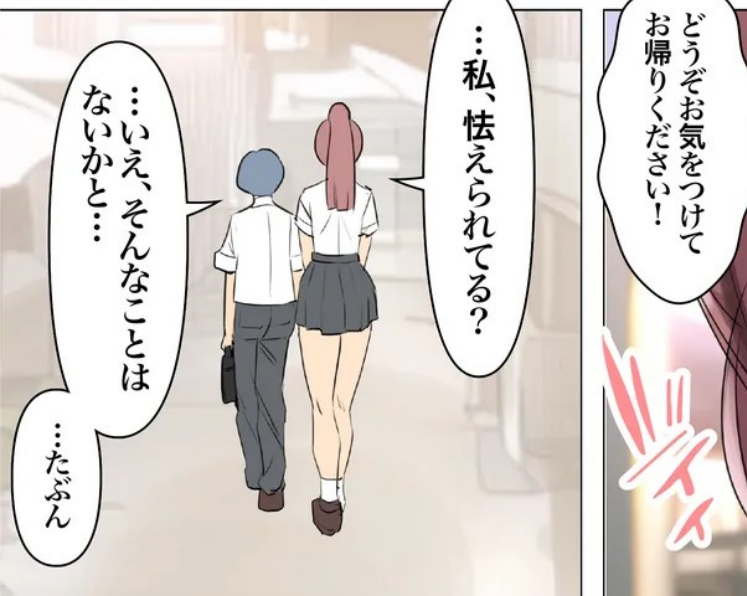
彼女は九條真那
今も飛び交う
噂通りの人で

そんな彼女が
僕の恋人に…
これは正に事件です!!

え…。なんで小野寺と
九條と一緒に帰ってんの？
まさか付き合ってるのか

いや、ありえんだろ。
あの氷の女帝「九條」だぜ？
むしろほらカツアゲじゃね？
九條が小野寺から

ああ、なるほど…

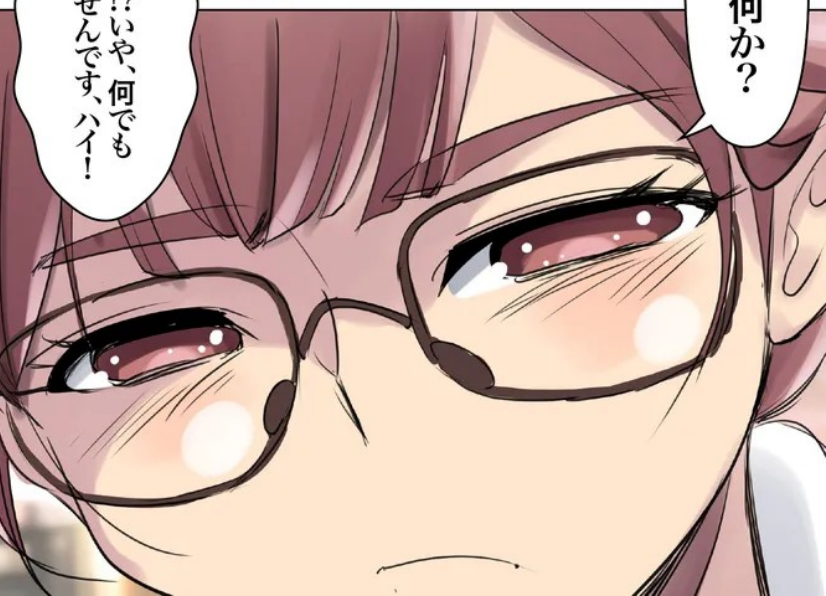


…いえ、そんなことは
ないかと…

…たぶん

…私、怯えられてる？

どうぞお気をつけて
お帰りください！



…私に何か？

えっ…!? いや、何でも
ありません、ハイ！



…問題ありません
真那さんが心優しい
女性であるのは
自分がよく知っているの



…私、別に睨んでる
わけじゃないのに

ああ…！
真那さん、可愛過ぎる…！
自分の彼女が
こんなに可愛いわけがない…！



…そっか。
じゃあ問題ないね

にゅにゅ

ああ…！
そのはにかむような笑顔！
学校という灰色の監獄に咲く
一輪の太陽！
自分には目映すぎるのであります



そうね。
たとえば――



…ど、どこかと
言いますと？

…ねえ、どこか
寄っていく？

ラブホテル



あつ...♡やつ...♡
はあん...♡
奥つ...♡当たって...♡
いいっ...

...タクやくんっ♡
キスしてっ...♡
キスっ...♡

んっ...♡んちゅ...♡
むちゅ...♡
んちゅ...♡

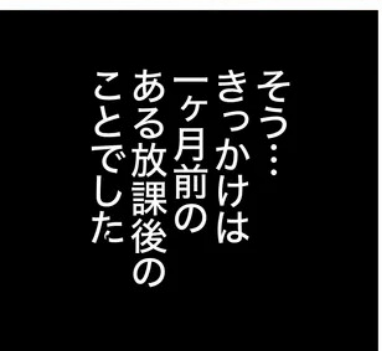
あつ...♡はあつ...♡
ああつ...♡イクっ...♡
もうイクっ...♡
イクイクイク

それにしても、
自分のような
つまらない男に
どうして彼女のよう
な恋人が出来たのか

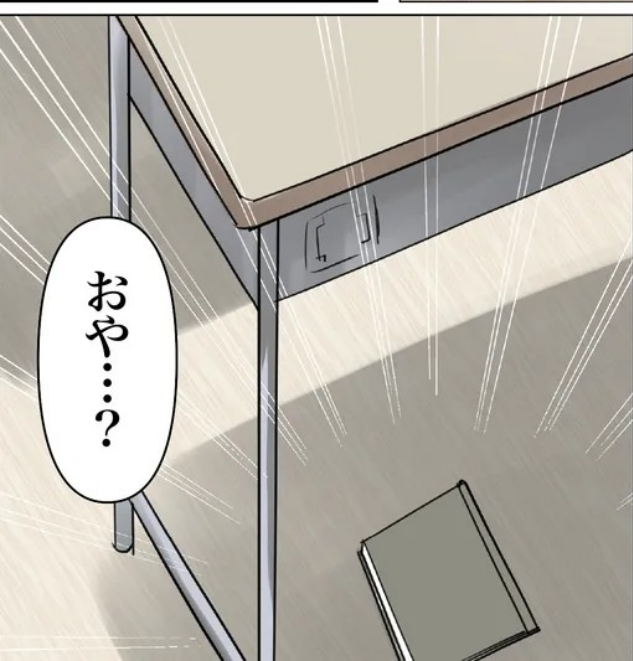
いまだに自分は
よくわからなくなる
ときがあります



はたして、いったい
どういう経緯で
自分とあの九條真那が
お付き合いをすることにな
ったのか



そう…
きつかけは
一ヶ月前の
ある放課後の
ことでした



おや…?



やれやれ。
今日も班の皆は
サボりでありますか…



この革の
ブックカバーは確か…

…そうだ

いつも九條真那さんが
読んでいる



いけないことだとは
わかっていました。
しかし、彼女が
真剣に読む本を
知りたいという
欲望に抗えなくなって
しまったのです

いったい真那さんは
いつもどんな本を
読んでいるのだろう…？



ガッ



…え？
こ、これって…

こ、これはもしかして
いわゆる官能小説と
いうヤツでは…

と、とにかく
何も見なかったことにして
こっそりと机の中に…

…小野寺くん？

…その本、
中を見たの？



!? 九條さん？



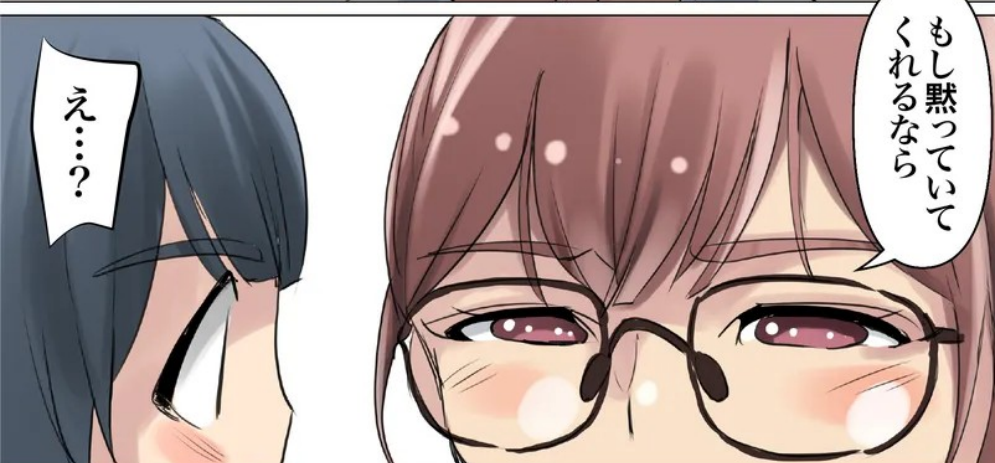




近い！近いです！
九條さん！

…このことは
内緒にして

はあ



え…？

もし黙っていて
くれるなら



…そうね

黙っていて
くれるなら



だ、黙っていて
くれるなら…？

グググ



あ、あの…その…

もちろん言いふらすつもりなど
毛頭ありませんでした

しかし、自分の身体は
石のように固まって
動かなくなっていたのです

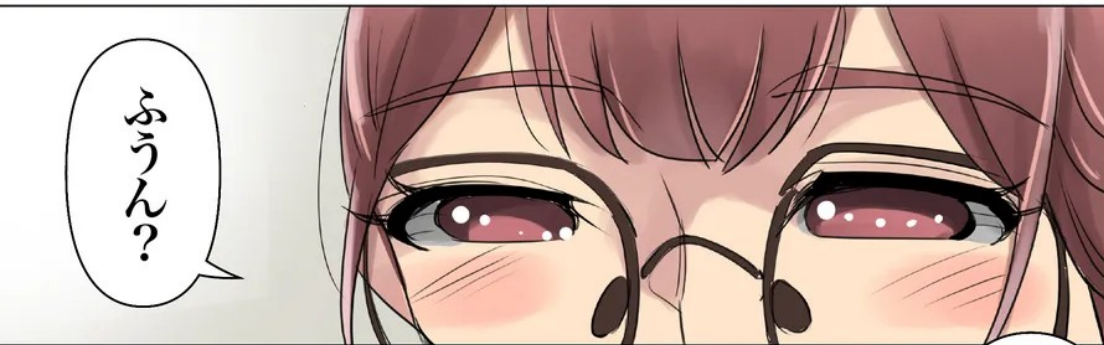




…もうこんなにしちゃって…
もしかして、こういう展開
期待してた？



あつ…



ふうん？



ん…♡ふっ…♡
ぺろお…♡

あつ…♡はあ…♡
そ、そんな…♡

いっ♡



いいえ、
決してそういう
わけでは…

やっ♡



な、なんだこの状況は…!?
夢か、これは夢なのか…



凄く熱くて硬い…
パンツ越しにも熱が
伝わってくるぐらい…
こういうの
気持ちいいんだ…?

あの氷の女帝の九條真那さんが…
僕の…僕のおちゃんを
こんなにもいやらしく…



大丈夫です
あの本のことは
誰にも言いません

そう。じゃあ…

どうする？さっきのこと
黙っていてくれるなら、
もっと気持ちいいこと
してあげるけど？

…っ









ぷるん♡



はあ、

はあ、

はあ、

はあ、

ぷるん♡



男の人って こういうの好き なんでしょ？

ぷるん♡

あつ...そんなつ... だめですつ...

ぶつちやけ 大好きですつ!!!

そりや大きくもなりますとも

ああっ…♡
真那さんの温かくて
柔らかい舌がっ…♡
舌が自分の一物の割れ目を
なぞるようにっ…♡

こ、こんなの
いつまでも
我慢できるわけないっ
ていうか、
もうイキそうだっ…

く、九條さんっ…
じ、自分っ♡
自分、もうっ…♡





その翌日

——気まずくて
目を合わせられない



ヒイイイイ！
に、睨まれてるっ……！



早く来て
放課後……ッ！

帰ろう……！
今日の放課後は
誰とも目を合わせずに
一目散に帰ろうッ……！



そして放課後

よし九條さんは
本を読んでる



タクヤのターン。
タクヤはいちもくさんに
にげだした。

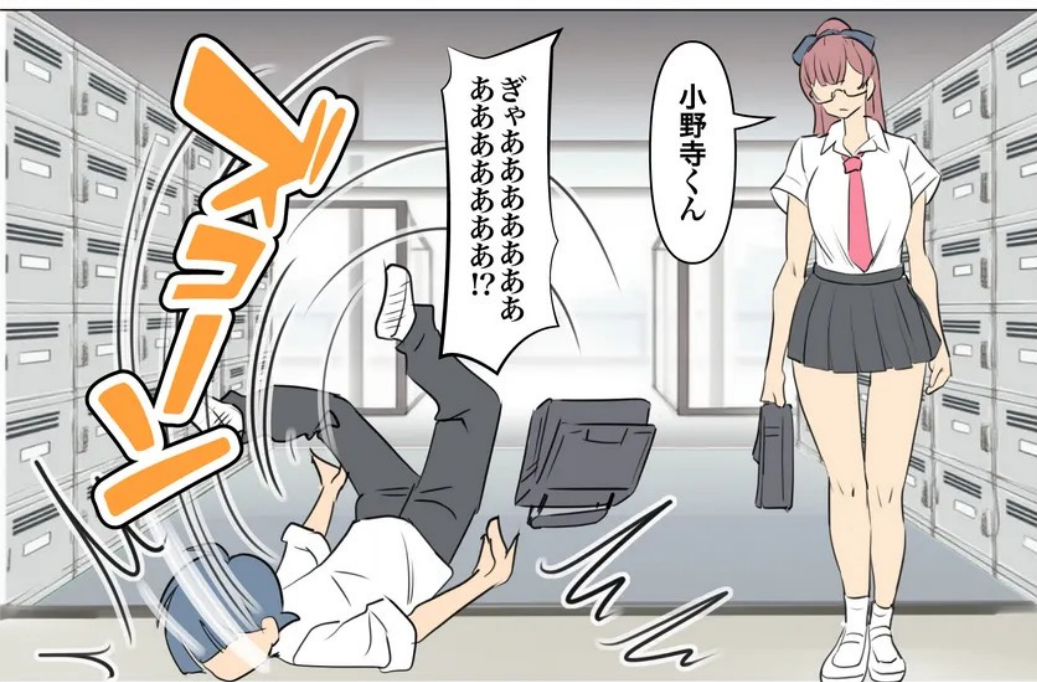


下駄箱！
何とか逃げられ…



小野寺くん

ぎゃあああああああ
あああああああ!!



い、いつのまに
まわりこまれて
しまったのかしら…？



話があるの。
教室に来て

は、はい…





それは…約束ですから

約束守ってくれたみたいね



官能小説だと
こういった約束は
必ず破られる
ものなのだけど

現実と
虚構の区別は
つけた方がいいと
思います…



そうですよ。
話はそれだけですか。
では自分はこれで…

そうね。
約束は約束
だものね



じ、自分は何をやっているんだ…?
これは夢か?自分はまだ
夢の続きを見ているのか?

にゅる
にゅる
にゅる

ぢゅる
ぢゅる
ぢゅる
ぢゅる

でも、夢にしては
あまりに生々すぎる
この匂い、この味、この感触…

…?
?

ん♡

はぁ
はぁ
はぁ

にゅる
にゅる
にゅる

にゅる

…もう充分ね。
じゃあ…



そろそろ
ちようだい…
あなたの
おちんちん…♡



あつ…♡違う…♡
そこじゃないわ…



そ、そんな…
ほ、本当に
いいんですか…？

…そんなに
おちんちんを
硬くして
まだそんなこと
言ってるの？



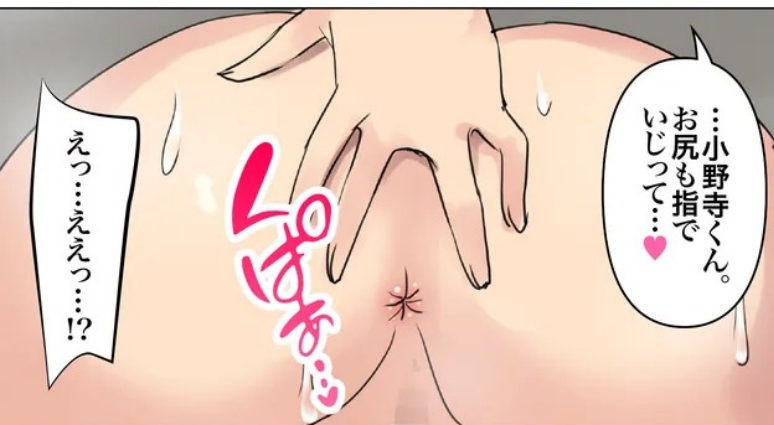
あ…こ、これが…女の人の
膣内…熱くて…狭い…♡
もつと、もつと感じたい…♡

…あ♡あ…♡
あ♡あつ…♡



…そこじゃない。
そう…こっち…♡

あ…あ…ああつ…





あつ...ああつ...
九條さんのお尻の穴が
僕の指を...

あつ...♡はあつ...♡
そ、そんなこと言わないでっ...♡
そんな官能小説の竿役みたいなこと
言わないでっ...

く、九條さんっ...!!
自分、もうっ、もう
いつてしまいたいそうで
ありますっ...!!

あつ...♡はあつ...♡
イクッ...♡
イクイクイク

いい、よッ...♡きてっ...♡
小野寺くんのザーメンで...♡
私の膣内をぐちゃぐちゃに
蹂躪してッ...



はぁ…はぁ…
く、九條さん…
だ、大丈夫…
でした、か…？

これが…♡
小野寺くんの精子…♡

んちゅ♡んぐ♡
ぺろお♡



…おいしかった♡
それじゃあ、また
明日の放課後、ね…♡

は、はい…。
…って、ええ!?

—そう言って
あやしく微笑む
真那さんに
自分はまだ
領くことしか
できませんでした

それから数日間――

あつ...♡はあ...♡
んう...♡♡
くああああつ♡♡

たふん

ぐちゃぐちゃ

自分達は放課後、毎日のように
二人でセックスに耽りました。

あるときは教室で——

あるときは教室で――

ああっ...♡ひいっ...♡
んう...♡ああっ...♡

はあ

はあ

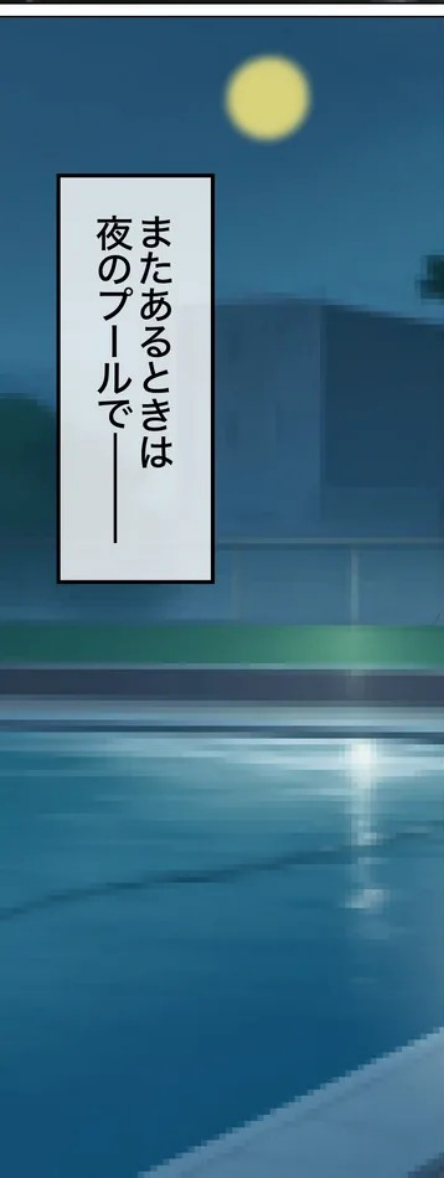
はあ

はあ

10

10

またあるときは
かび臭い体育倉庫で——

A vertical photograph of a swimming pool at night. The pool's surface is dark blue and reflects the light from a full moon in the sky. A bright, circular reflection of the moon is visible on the water. In the background, a dark, rectangular building is silhouetted against the night sky. The sky is a deep blue, and the moon is a bright, glowing yellow circle. The overall mood is serene and quiet.

またあるときは
夜のプールで――

く、九條さん…
そ、その格好は…？

中学校のときの
水着を着てきたの…？
変…かしら…？

いや、決して
変というわけでは
ないのですが…

ぱつんぱつんでっ…！
ぱつんぱつん過ぎて
自分には目に毒なので
ありますっ…！

しかし…どうして
わざわざ中学の水着を…？

はい。これ。

そのハサミで私の水着を
好きなように
切り刻んで…♡

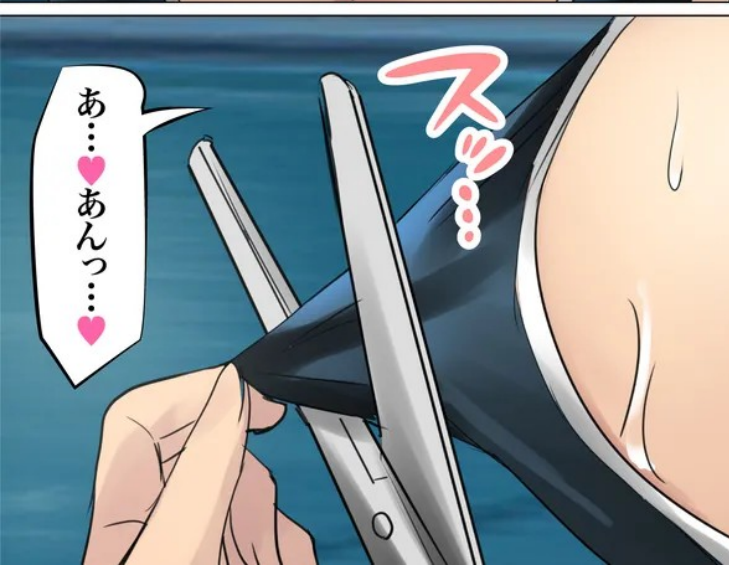
な、なんですって——！？

この間の官能小説に
そういうシーンが
書いてあったの

い、いったいどこで
そのようなハイレヴェルな
遊びを…

官能小説家の先生、
天才かよっ…！！

あ…♡あんっ…♡





…っ♡こ、これは
想像以上に
恥ずかしいわねっ…♡

…九條さん！
自分、もう
我慢できません！

あつ…♡やつ…♡
あああ——♡
♡

いやいや、
エロ過ぎでしょう!!



あつ…♡やつ…♡
ンッ…♡はげ…激しいっ…♡
こんなのすぐイっちゃうっ

ああ…!!
真那さんのおまんこっ！
どんどん狭くなつて
自分のイチモツを
キュウキュウ
締め付けてっ…

九條さん…!!
自分、もう
イケますっ…!!

私もっ…♡来てっ…♡
私の膣内に全部出してっ…♡

ああつ…!!イクイク



そして、
その翌日

さあ、今日はどんな
プレイにしましょうか？

昨日の水着でのプレイも
良かったけれど、
カビ臭い体育館倉庫での
行為も悪くは…

…九條さん。
もうやめにしましょう

え…？

もう充分約束は
果たしてもらいました

もうあの小説に
書かれているプレイは
一通り済ませたでしょう？

え…？

小野寺くんは
私にこういうことを
されるの迷惑？



え…？



…迷惑なんかじゃ
ありません

でも、やっぱり嫌なんですよ。
自分のことを嫌っている相手に、
その弱みにつけ込んで
こんなことをさせるのは…



だから、もう
終わりにしましょう

嫌いな人間の言う事を信じろと
言われても難しいかもしれませんが…
先日言ったとおり自分は九條さんの
趣味を言いふらすつもり
全くありません



九條さんが自分のことを
好きじゃないのは知っています。
ときどき遠くから睨むような視線を
感じてましたから



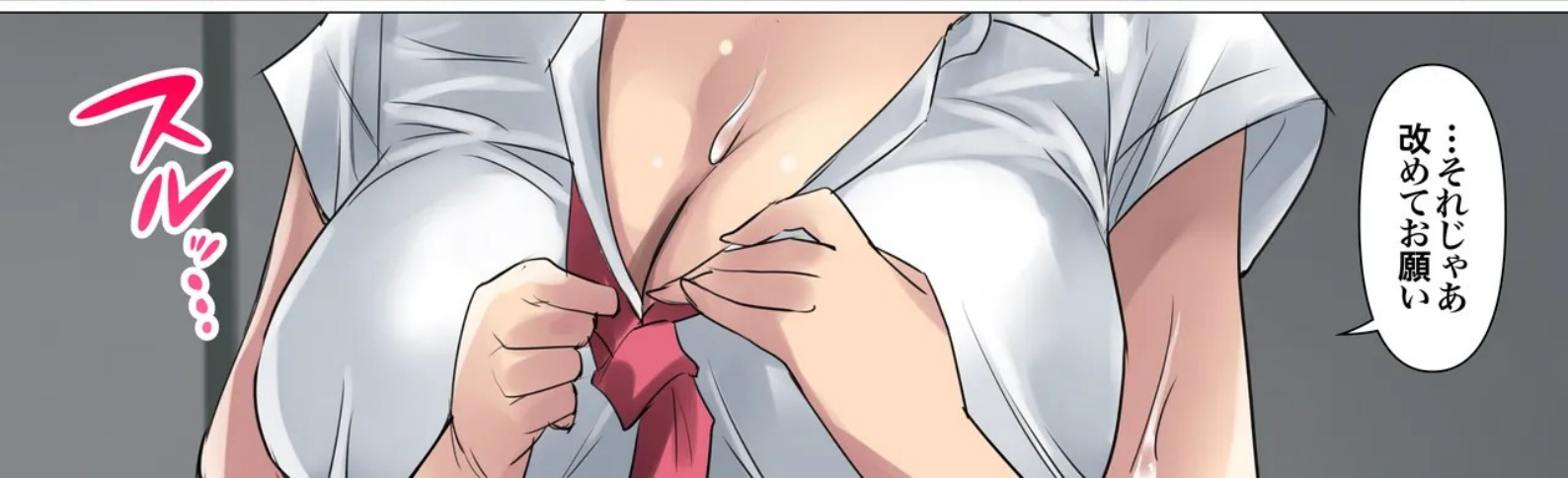
私は貴方を
睨んでいたわけじゃない

ただ遠くから
見つめていただけ。
私、目つきが良くないから



…違う

え…



…私のこと、
めちやくちやにして♡

あのとき貴方が拾ってくれた
あの官能小説みたいに…♡

バァッ

もう試験も終わって
残っている生徒も
いっぱいいるのに…♡
廊下に声溢れて、みんなに
見られちゃうっ…♡

官能小説の登場人物に
なりきったかのように喘ぐ
真那さんはいつもより
3倍増して
エロ可愛く見え—

いいじゃないですかっ…!!
そういうの好き
なんでしようっ…!!
見せつけてやりましょう、
貴方と僕の
破廉恥な姿をっ…♡

こうして嘘のような本当の話で、
自分は憧れの氷の女帝と
繋がりが合うことになったのでした

あっ…♡はあ…♡
んあ…♡だめ…♡
見えちゃう…♡
こんなの見えちゃうっ…♡

はあ、

はあ、

はあ、

ブルン♡

ズチュッ

ズググ

ブルン♡

そんな彼女に好意を
持たれていたということを
知った自分はいまふ
調子に乗っていました



そんなこと言っておまんこの方はどんどんキツく締まってきてますよ...

しかし、誰かに見つかるかもしれないというスリルと背徳感、確実に自分達の感度を高めてくれました



やあ...♡
恥ずかしいからそれ以上は言っちゃいやあつ...♡

性感はいよいよ高まり、あと少しで絶頂に至ろうというそのときでした



言葉とは裏腹に彼女の声は大きく、いつ周囲の人に気づかれてもおかしくない状況でした

いやあつ...♡
見られたくないっ...♡
私の破廉恥な姿を見ていいのはっ...♡
小野寺くんだけなのおつ...♡



バツカお前、AVかエロ漫画の見過ぎだろ。そんなヤバイことするやつ、現実にいるわけねーだろ

それそうか

ツン...♡♡♡♡♡
ツン...♡♡♡♡♡



HAHAHAHAHA!

ツン...♡♡♡♡♡
ツン...♡♡♡♡♡



あれ？
なんか変な声聞こえねえ？
女の喘ぎ声みたいな...

!?



じゃあどういう
プレイがしたいんですかっ……！
ほら、僕にわかるように
言ってみてくださいよっ……！

あッ……♡ひあッ……
んああああッ……♡

いいところで邪魔が入った自分は
もはや自分の昂ぶりを
抑えることができません

さらに悪いこと(?)に、
真那さんは真那さんで
DM性癖があるのか、
言葉で責めれば責めるほどに
締め付けを強くしていきます

いやあ……♡無理っ……♡
そんなの恥ずかし過ぎて
無理いつ……♡

言わないと
終わりませんよっ……！
それとも明日の朝、この教室に
みんなが戻ってくるまで
二人で繋がりますかっ……！
僕はそれでも一向に
構いませんけど……！

……♡突いて欲しいっ……♡
雄馬が雌馬に種付けする
みたいにつ……♡
種付けピストンで奥まで
突いて欲しいのっ……♡

真那さんは
自分で自分の言葉に
感じているみたい
にますます膣穴を
強く締めつけます

ああッ……♡
そ、そんなっ……♡



真那さんのおまんこ凄い…♡
蛇みたいに竿全体に絡みついて、
油断したら食いちぎられそうだ



あつ…♡やあ…♡
はあ…♡ひああ♡



…キス♡
小野寺くん…♡
キスして…♡

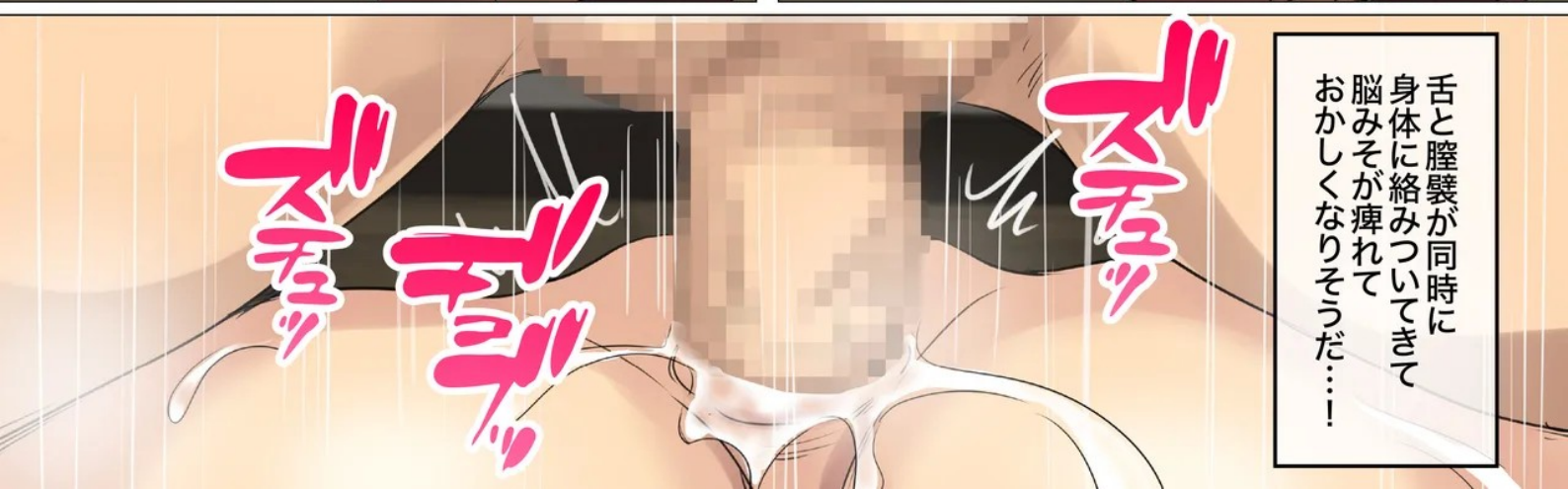


んちゅ♡むちゅ♡
むちゅ♡



ああ…♡真那さんの舌っ…♡
柔らかくて…♡温かい…♡

舌と膣襞が同時に
身体に絡みついてきて
脳みそが痺れて
おかしくなりそうだ…!





あの…。九條さん、
もしかして、今、
イキました…？

~~~~ツ!?

ぎゅ

あれ…？なんだか様子が  
さっきまでと…  
これってもしかして…



はあ…♡はあ…♡  
ふう…♡♡

ズン

ズン



あ、これ図星だ…。ヤバい…。  
自分、自分がイクよりも早くに  
真那さんをイカせることが  
できたんだ…



はあ、はあ、  
…動いて  
はあ、  
え…？



…もつと動いてっ！

ガッ

恥ずかしさとか、  
そういうの全部  
吹き飛んでしまっ  
ぐらいに激しくっ！

グイ

は、はいいいっ…！

はあ、

はあ、

はあ、

はあ、





あつ♡はあつ♡  
んお♡そうっ♡  
もっ♡と♡  
もっ♡と♡強く♡



あつ♡♡はあつ♡  
しゅごい♡♡小野寺くんのおちんちん、奥の…奥の気持ちいいところ当たってるう♡♡

ここですかっ…!!  
ここがいいんですねっ…!!

あッ♡らめえっ♡  
そこばっかりイジめちゃ…やあッ♡

あ…♡またこんなに締めつけて…さっき一度イってから、また締めまりがよくなってるッ♡





おっ...  
おっ...  
んお...  
イク...

子宮の奥、  
おちんちんで押し潰されて、  
私、もうイっちゃうっ...

自分もっ...自分も  
もうイキそうですっ...

ナカ  
膣内につ...!  
膣内に出しても  
いいですかっ...!?

...出してっ♡私の大好きな官能小説みたいにつ♡  
子宮の奥に壊れるくらい濃厚なザーメン  
奥まで注ぎ込んでっ...









くあ…あああ…♡ヤバい…♡  
根元まで絡みついてきて…  
最後の一滴まで搾り取られる…♡







…は、はいっ！



…ありがとう♡  
とつても気持ち良かった…♡  
また明日からもよろしくね、  
タクヤくん♡



これがこの夏に起きた  
『事件』の顛末

そして、これから  
長く続いていくであろう  
自分と真那さんの  
始まりの物語なのであります

~~~~~



こちらこそ
どうぞ末永く
よろしく
お願い致します…！

クールでメガネ美人な九條さんは
ライトノベルのヒロインみたいにエロ可愛い。
01

発行 アトリエTODO
漫画 しるこ
シナリオ ウラジーミル
編集者 TODO監督
発行日 2025年7月

連絡先
Twitter @ TodoTodoproduce

Copyright ©2025 Atelier TODO. All rights reserved.

禁
無断転載、無断掲載、アップロード等
未成年者の閲覧、貸出、譲渡











